

計画事業番号	00454	事務事業名	街路灯整備支援事業	担当部署	市民環境部市民課	電話	2303
--------	-------	-------	-----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市街路灯補助金交付要綱、北広島市街路灯補助金交付要領			
事務事業開始年度	昭和40年		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境にまつまれた安全なまち	
	(第 7 節) 防犯対策の推進	
	(施策 2) 犯罪が起きにくい環境づくり	
2 対象	街路灯を設置又は維持する者(自治会、街路灯組合など)	
3 目的と内容	<p>夜間における犯罪の防止及び交通の安全確保を図るため、街路灯を維持する自治会等の団体に維持費(電気料金)及び修繕費に対する補助金を交付する。(補助基本額の2分の1を補助)</p> <p>また、LED街路灯設置に係る補助金(補助基本額の3分の2を補助)を交付することにより、環境負荷に優しい、節電効果の高いLED街路灯への切り替えを促進する。</p> <p>なお、LED化は計画的に進めるものとし、平成29年度のLED化率80%、平成31年度のLED化率85%を目標とし、整備を目指すこととする。</p>	
4 実施内容(手段)	28年度末	街路灯を維持管理する自治会等の団体に、街路灯の設置費、維持費、修繕費に係る経費に対し、補助金を交付。
	29年度	<p>昨年同様、夜間における犯罪の防止及び交通の安全確保を図るため、街路灯の設置や維持する自治会等の団体に対し、引き続き支援を行う。</p> <p>対象:北の里街路灯組合外128団体</p> <p>①街路灯維持費(電気料)補助金(約6100灯分)</p> <p>②街路灯修繕費補助金(30件修繕分)</p> <p>③街路灯設置費補助金(LED約400灯設置更新分)</p>

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
【維持費】(電気料金) 6,100灯 補助金 17,045千円	【維持費】(電気料金) 6,102灯 補助金 14,177千円	【維持費】(電気料金) 6,100灯 補助金 15,774千円	【維持費】(電気料金) 6,100灯 補助金 14,552千円	【維持費】(電気料金) 6,100灯 補助金 14,552千円	【維持費】(電気料金) 6,100灯 補助金 14,256千円	【維持費】(電気料金) 6,100灯 補助金 14,256千円	【維持費】(電気料金) 6,100灯 補助金 14,256千円
【修繕費】 30灯 補助金 111千円	【修繕費】 50灯 補助金 160千円	【修繕費】 30灯 補助金 111千円	【修繕費】 20灯 補助金 75千円	【修繕費】 20灯 補助金 75千円	【修繕費】 20灯 補助金 75千円	【修繕費】 20灯 補助金 75千円	【修繕費】 20灯 補助金 75千円
【設置費】(LED)800灯 補助金 18,662千円	【設置費】(LED)896灯 補助金 19,233千円	【設置費】(LED)400灯 補助金 9,331千円	【設置費】(LED)200灯 補助金 4,588千円	【設置費】(LED)200灯 補助金 4,588千円	【設置費】(LED)100灯 補助金 2,294千円	【設置費】(LED)100灯 補助金 2,294千円	【設置費】(LED)100灯 補助金 2,294千円

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	<p>夜間における犯罪の防止と安全確保のために設置している街路灯経費を補助することにより、犯罪が起りにくい環境づくりが図られるため、補助を継続していく必要がある。</p> <p>また、街路灯のLED化を進めるため、H24年度から設置費補助率を1/2から2/3に引き上げた結果、H27年度末のLED化率が全体灯数(6100灯)の60%まで進み、今後もLEDへの切り替えを推進していく。</p>	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			33,570		25,216		19,215		16,625	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		9,331		0		0	
		一般財源	33,570		15,885		19,215		16,625	
	① 合計	33,570		25,216		19,215		16,625		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	5,880	0	5,880	0	5,880	0	5,880	0	
総事業費①+④			39,450		31,096		25,095		22,505	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 新規設置灯数	目標値	灯	800	400	200	100
		実績値		896			
	② 維持灯数	目標値	灯	6,100	6,100	6,100	6,100
		実績値		6,102			
③ 修繕灯数	目標値	灯	30	30	20	20	
	実績値		50				
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① LED化率 LED灯数÷全体6100灯×100	目標値	%	72	80	83	85
		実績値		74			
	② 【指標の定義(算式等)】	実績値					
③ 【指標の定義(算式等)】	実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	地域の生活道路における夜間の交通安全と犯罪防止のため、自治会等が地域の実情に応じ、自主的な整備と維持管理を行うことに対し、市が補助を行うことは妥当である。 街路灯維持管理費にかかる金額のおよそ半額を補助していることから、受益者負担は適切であると考え。 また、街路灯を維持管理している団体すべてに補助しているため、公平性は守られている。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	LED化も概ね計画どおり進み、街路灯の維持管理も適切に行われているため、成果は出ている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	H24年度からLED設置費補助率を1/2から2/3に引き上げたため、今後もLED化の促進により、街路灯維持管理費の軽減が期待できる。ただし、LED化を図っても自治会等の負担軽減につながらない団体が発生していることから、それらに対する検討が必要である。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	電気料金の値上げや消費税の改定により、自治会負担も増えているため、削減の余地はないが、今後更にLED化が推進されることにより、将来的には街路灯維持費コストが削減される可能性がある。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。	